

広島市植物公園

見どころ案内

キジュ (ニッサ科)

中国原産の20~25mにもなる高木で、一本一本はバナナのような形の実が連なり、花火のような形になります。しかし、毒性が強く、食べることはできません。

シュウメイギク

(キンポウゲ科)

中国原産で、アネモネの仲間ですが、秋に咲きます。清楚な白や淡いピンクの花を咲かせています。

バラ園(バラ科)

いよいよ四季咲き大輪や中輪房咲き品種の秋の開花が始まりました。秋の冷涼な空気の中、花色も冴え、香りもお楽しみいただけます。

モクキリン

(サボテン科)

~10月15日(日)

南アメリカの熱帯雨林に生育し、香りの強い花を順次咲かせます。蔓には多肉質の葉が密生し、葉のつけ根や枝には棘があります。

大温室改修のため休館中

リニューアルオープン
は平成30年春ごろです。
(予定)

ハンキングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンキングバスケットがあり、セロリア、ユーフォルビア、ジニア、ツタなどを使い、秋バージョンに美しく彩りました。
[日本ハンキングバスケット協会 ハンキングバスケットマスター作]

フジバカマ(キク科)

秋の七草の一つ。淡い赤紫色の花が咲いています。準絶滅危惧種。園芸店で販売されているものはほとんど雑種です。10月初めからアサギマダラ(渡り蝶)が飛来しています。

コスモス迷路(キク科)

花の迷路が見頃を迎えています。11/5には摘み取りを行いますので早めに御覧ください。

アルテルナンテラやハロウインの飾り付け

アルテルナンテラを使った広島東洋カープの優勝記念やカボチャのお化けなどのハロウインの飾り付けを設置しています。

サルビア・マドレンシス(シソ科)

メキシコ原産のサルビアで、別名イエローマジスティと呼ばれています。秋遅くまで花を楽しむことができます。

特別企画展

「毒と薬は紙一重」

~11月30日

用法や用量によっては毒にも薬にもなる植物を、写真やパネルで紹介しています。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸び、大きなカーテンを作っています。

